

開削調査カルテ (3)

③. SP104.1-38.8 ふくれ 平成12年度調査



膨れの頂点にクラック有り



深さ 5 cm まで湿潤状態



損傷範囲は直径 10 cm 程度



湿潤範囲以外の混合物は硬い



湿潤部分の混合物はアスファルトの剥離が進行している。

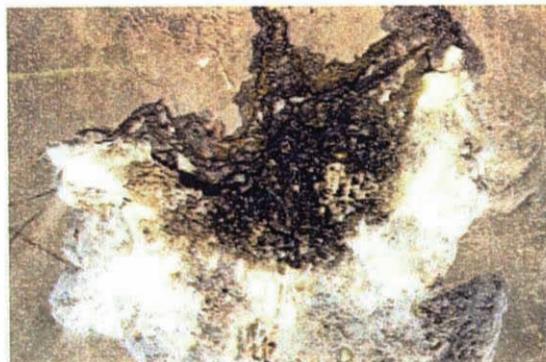
項目	状況
測点	SP104.1-38.8
損傷種類	ふくれ
ジョイントからの距離	40cm
剥離面深さ	ピックで開削したため不明。
剥離面水分	深さ5.0cmで水分有り
剥離面骨材のAs剥離	As剥離が進行している。
供試体内部状況	内部混合物は湿潤状態である。
損傷進行深さ	5.0cm

開削調査カルテ (4)

④. SP104.0-42.8 ふくれ 平成12年度調査



表面状況



ピックで開削



内部に空洞が存在深さ 9 cm程度



空洞の直径 2 cm程度



膨れ上部にはピンホールが存在し膨れとの連続性が確認されている。

項目	状況
測点	SP104.0-42.8
損傷種類	ふくれ
ジョイントからの距離	50cm
剥離面深さ	ピックで開削したため不明。
剥離面水分	深さ5.0cmで水分有り
剥離面骨材のAs剥離	As剥離が進行している。
供試体内部状況	直径2.0cmの空洞が深さ9.0cmまで存在している。
損傷進行深さ	9.0cm